

# 霧島山

## 新燃岳

火山活動評価：静穏な火山活動(レベル1)

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

火山活動度レベルは1です。平成18年5月22日以降、レベル1が継続しています。

## 概況

- 地震・微動活動(表1、図2、図6)

火山性地震は少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

- 噴煙活動

監視カメラでは火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

- 地殻変動(図3、図4)

GPSによる連続観測では、長期的に見ると、新燃岳が南東側に膨らむ傾向が観測されています。

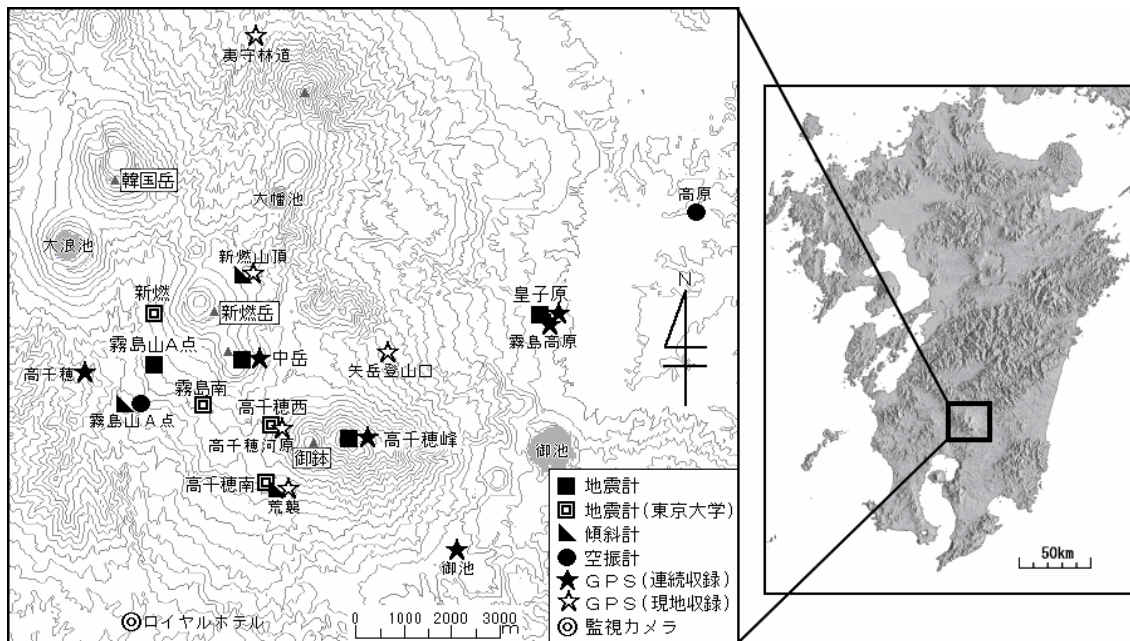


図1 霧島山広域観測点位置図

この資料は気象庁の他、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)、25000分の1の地形図を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

表1 新燃岳付近を震源とする地震・微動回数(2005年12月~2006年11月)

2005~2006年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	2	181	275	210	53	37	18	9	3	16	6	8
微動回数	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0

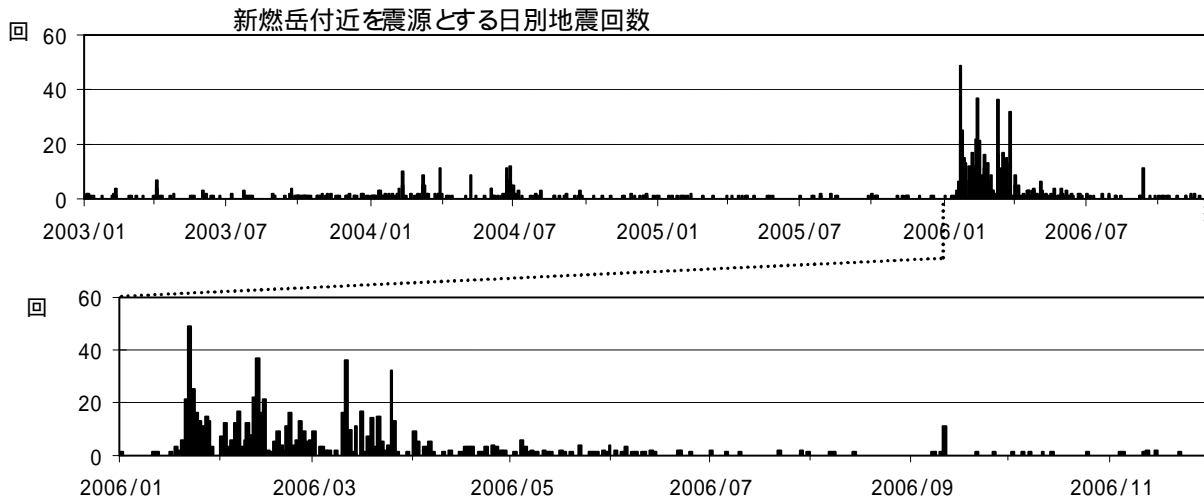


図2 新燃岳付近の火山活動経過図(2003年1月~2006年11月)

- ・ 11月の火山性地震の回数は8回と静穏に経過しました。
- ・ 火山性微動は発生していません。

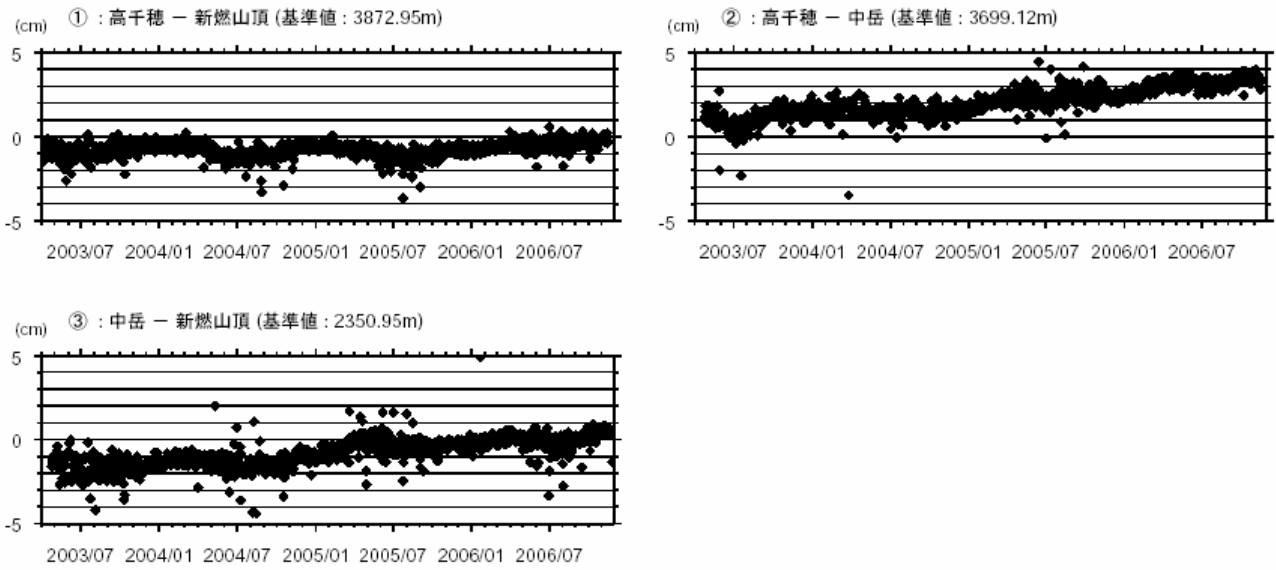


図3 GPSによる基線長変化(2003年4月~2006年11月)

- ・ 長期的に見ると高千穂-中岳、中岳-新燃山頂間で伸びの傾向が見られます。

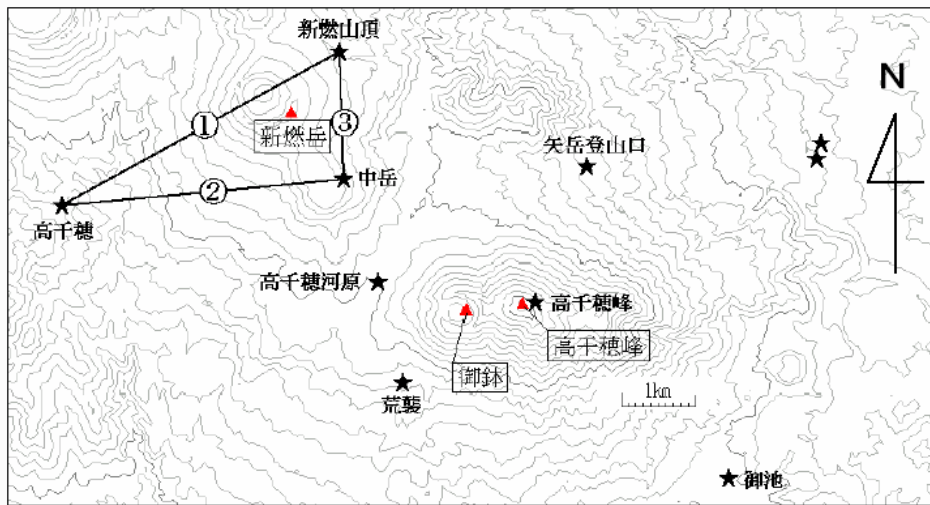


図4 GPS連続観測基線図

- ・ 新燃岳を囲んだ3観測点による基線

## 御鉢

### 火山活動評価：静穏な状況(レベル1)

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

現在の火山活動度レベルは1です。平成18年5月22日以降、レベル1が継続しています。

### 概況

- ・ 地震・微動活動(表2、図5、図6)  
火山性地震は少なく、静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。
- ・ 噴気活動(図5)  
監視カメラでは火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・ 地殻変動(図7、図8)  
GPS連続観測による地殻変動観測では、長期的には高千穂峰や中岳の観測点がわずかに南東に動く傾向が観測されています。

表2 御鉢付近を震源とする最近1年間の地震・微動回数(2005年12月～2006年11月)

2005～2006年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	1	3	5	3	4	8	16	16	8	7	6	5
微動回数	0	10	10	6	2	2	3	0	0	0	0	0

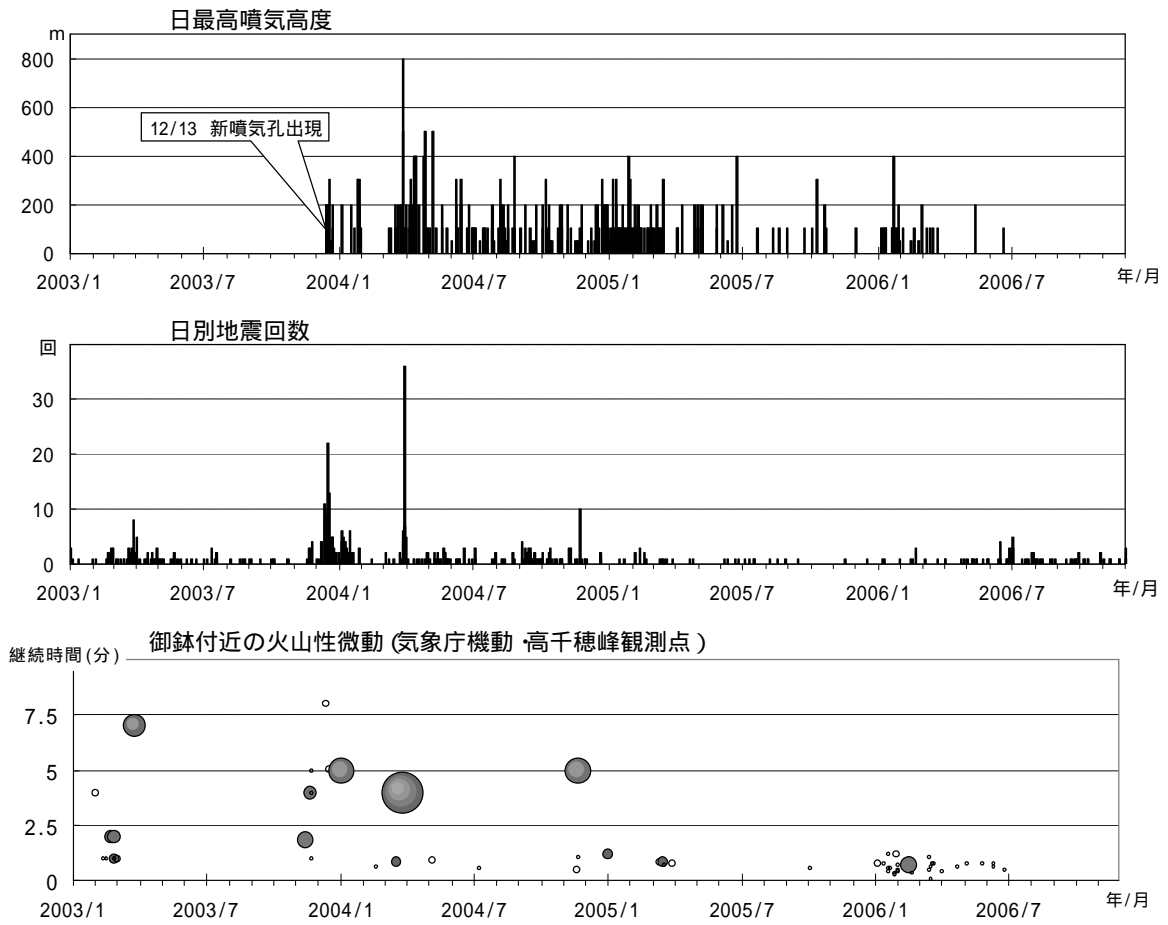


図5 御鉢付近の火山活動経過図(2003年1月~2006年11月)

- ・ 監視カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・ 火山性地震は少なく、静穏に経過しています。
- ・ 火山性微動は観測されませんでした。

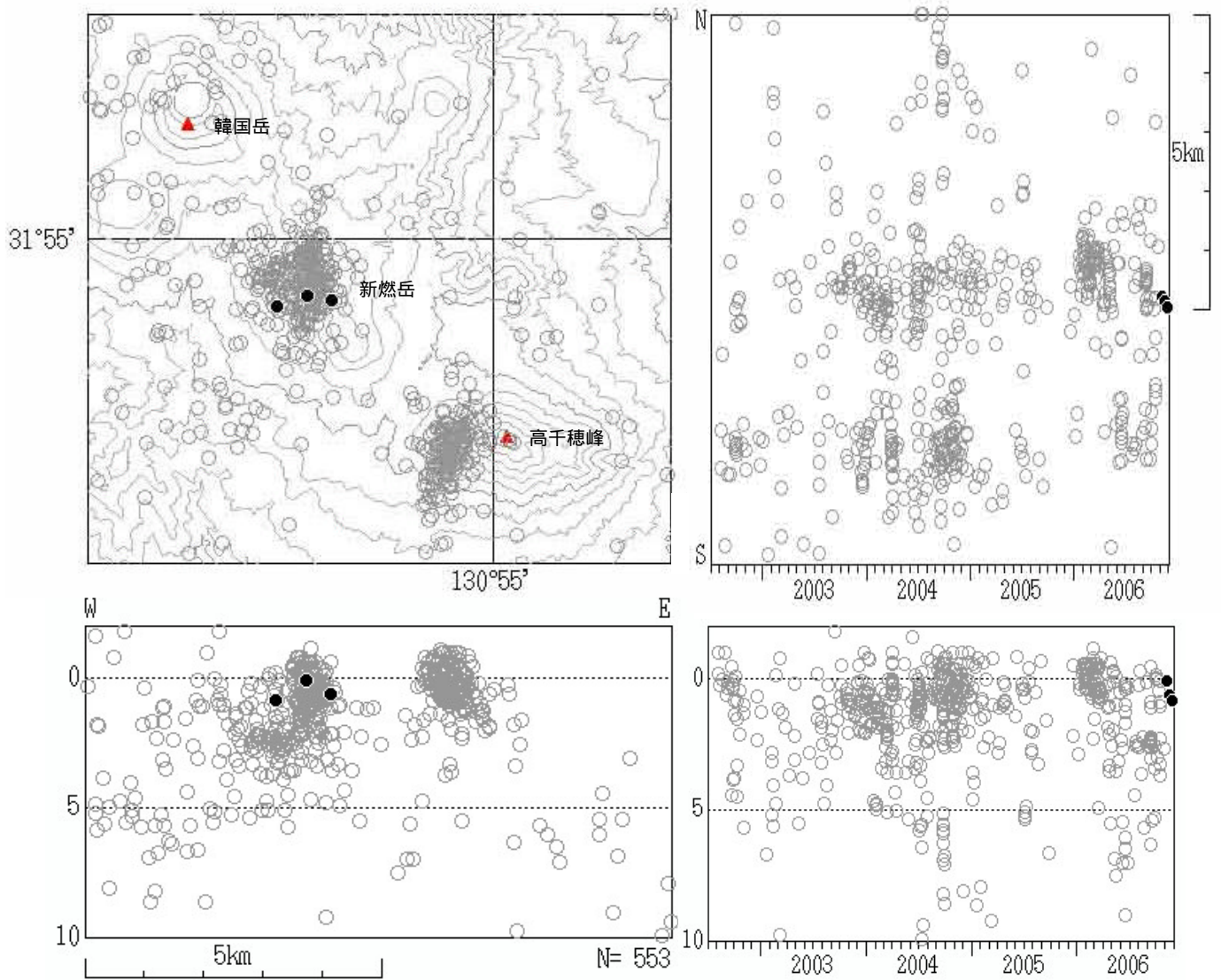


図6 震源分布図(2002年7月~2006年11月)

- ・ 今期間の震源は黒丸で表示しています。
- ・ 11月に求まった震源は3個で、これまでとほぼ同じ領域に求まりました。

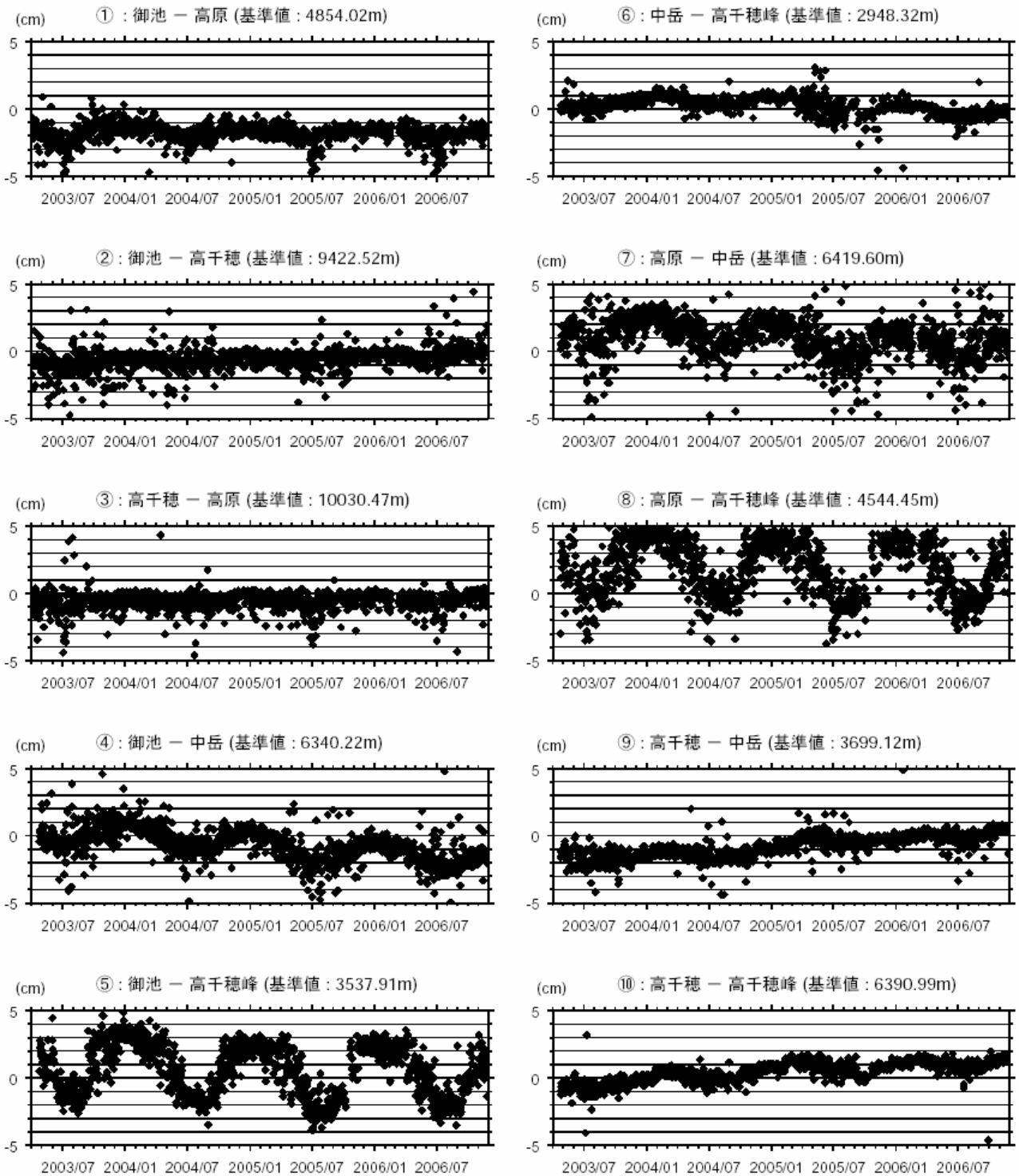


図7 GPSによる基線長変化(2003年4月~2006年11月)

- ・ 長期的には、中岳や高千穂峰の観測点がわずかに南東に動く傾向が観測されています。
- ・ 短期の大きな変動は季節変化によるものです。これは観測点間の標高差が大きいほど顕著に現れます。



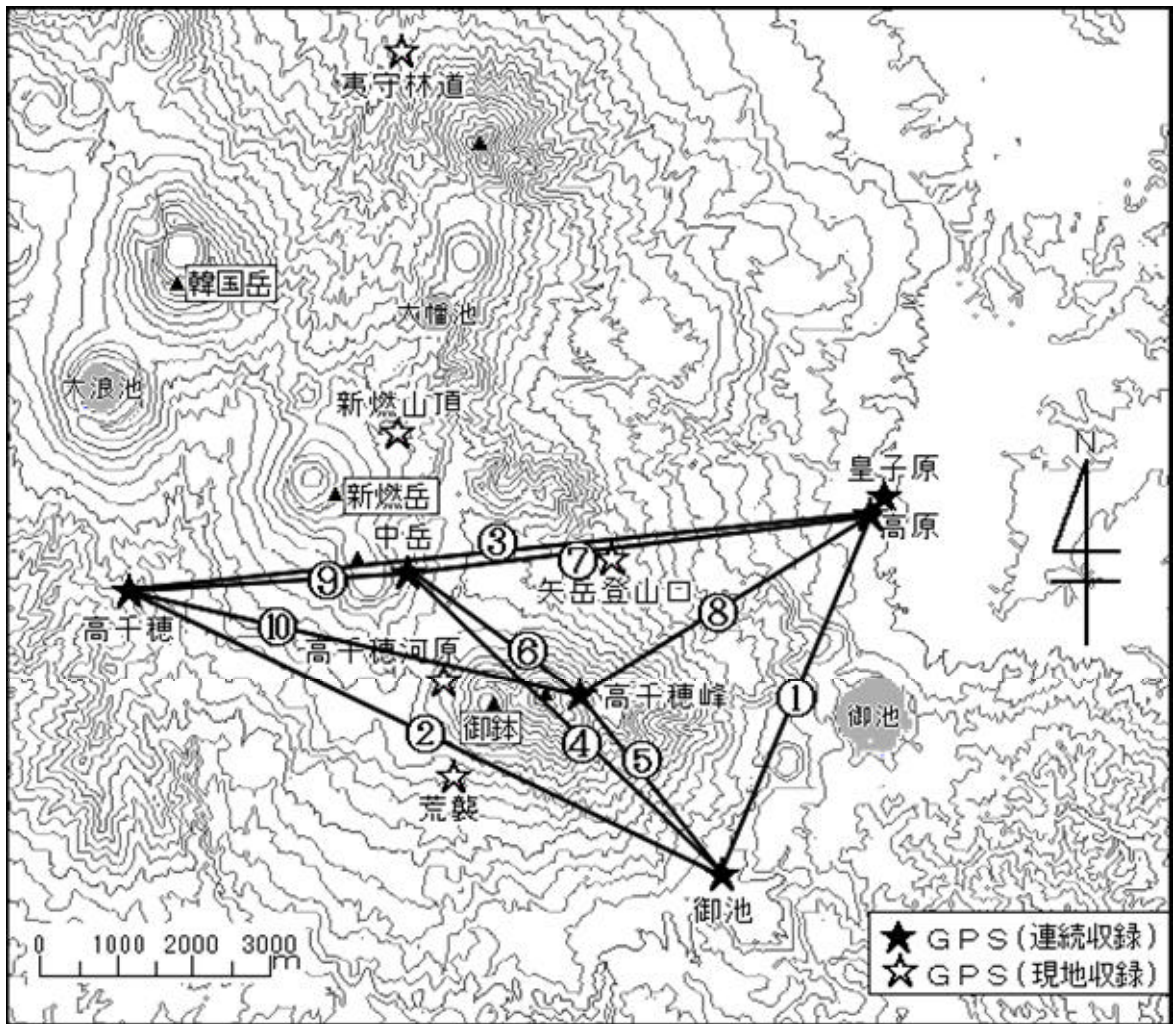


図8 霧島山のGPS連続観測基線図